ともに、生きる。江戸川区

最近、聞こえにくい

と感じることはありませんか？

加齢性難聴は早めに自覚することが大切です。

年を重ねて、「聞こえにくさ」を感じるのは仕方ないことだとあきらめてしまう人も多いのではないでしょうか。

最近聞こえにくいかもと感じたときにどう行動するかで、その後の「聞こえの快適さ」が変わってきます。

日常生活でこんなことはありませんか？

- 自転車や車が、近くに来ていることに気づかなくて驚いた。
- 家族にテレビの音が大きいと言われたことがある。
- 電話で相手の声がうまく聞き取れない。
- 病院の待合室等で呼ばれても気づかないことがある。

聞こえチェック

（出典 一般社団法人日本補聴器販売店協会「はじめての補聴器」）

- □ 会話をしているときに聞き返す。
- □ 見えないところからの車の接近に気づかない。
- □ 後ろから呼びかけられると気づかないことがある。
- □ 電子レンジなどの電子音が聞こえない。
- □ 聞き間違えが多い。
- □ 耳鳴りがある。
- □ 話し声が大きいと言われる。

※チェックの結果と補聴器購入費助成事業の案内は裏面にあります！

チェック結果

いくつ当てはまりましたか？

1～2個 …… 日常生活でお困りのことがあれば耳鼻咽喉科を受診しましょう。
3～4個 …… 耳鼻咽喉科で相談してみましょう。
5個以上 …… 早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。

適切に対応することが今後の生活を快適に送るうえで必要です。

会話をするのが億劫になり、コミュニケーションが少なくなったり、社会との関わりが減ったりすることで、認知機能に影響が出る可能性があります。

耳鼻咽喉科を受診し**補聴器**が有効であるか診断してもらいましょう。

江戸川区では高齢者の方へ補聴器購入費助成を実施しています。

中等度難聴※の区民の方がこれから補聴器を購入される場合に、費用の一部を助成します。（※近くで話してもらわないと聞こえない程度の聴力）

対象者（65歳以上で住民税非課税の中等度難聴者）

※区所定様式に耳鼻咽喉科医師から本制度の基準を満たすと認められた証明が必要
※聴覚障害による身体障害者手帳を所持の方は対象外
※過去にこの制度による助成を受けた方は対象外

内容・実施方法（1人1回限り　上限：35,000円まで）

助成決定後に購入する補聴器本体の費用を助成。**申請前の購入は対象外。**
また、検査、集音器や付属品の購入等にかかる費用は対象になりません。

必要書類

①申請書
②オージオグラム（純音聴力検査表（3ヵ月以内のもの））
③住民税が非課税であることの証明書（基準日の課税状況が江戸川区で確認できない方のみ）

申請書配付・受付窓口

熟年相談室・健康サポートセンター
介護保険課窓口（江戸川区役所2階2番）
※郵送申請または電子申請も可能です（電子申請した場合も医師の証明等の提出が必要です）。

詳しくは区ホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。

江戸川区
ホームページ

令和6年12月発行

問い合わせ先 江戸川区 福祉部 福祉推進課 孝行係　電話：03（5662）0314　〒132-8501　江戸川区中央1-4-1